

# 2020年度 WE DO KYOTO!ユースサポーター 委嘱式及びワークショップ



8月17日に、委嘱式及び環境問題に関するワークショップを開催しました。今年度は、16名の皆様を「WE DO KYOTO!ユースサポーター」として委嘱し、環境啓発事業にご協力いただいております。

ワークショップでは、興味・関心のある環境テーマ(A:地球温暖化、B:ゴミ問題、C:海洋汚染・生物多様性)ごとに班分けを行い、意見交換した内容を発表いただくなど、知識を深める機会となりました。(次ページ参照)



# グループ発表内容

	グループA ＜地球温暖化＞	グループB ＜ゴミ問題＞	グループC ＜生物多様性・海洋汚染＞
関心のある問題	① 大量生産・大量消費 ② エネルギー問題(化石燃料の消費) →企業活動だけでなく、車での移動などの家庭活動を含む	① ポイ捨て ② ゴミの分別 ③ プラゴミの増加	① 生物多様性 ② 河川のゴミ
問題の原因	消費者の行動意識が足りない	人的な要因によるものが多い	生物＝人間に結びつけて考えていない
<b>【全ての問題に共通していること】知識の不足等により、環境に与える影響について知らない</b>			
問題を解決するにはどのようなことが大切か	<u>情報発信を通じて、環境問題の現状(原因など)を知る</u>  [例] ・環境への影響を可視化する ・環境対策を一方向的に押しつけるのではなく、対策を行うことにより、自分たちにもメリットがあることを伝える	<u>情報発信(子供への教育を含む)を通じて、消費者の意識を変える</u>  [例] ・ポイ捨てをした人に対し罰を与える(Ex.街中のモニターにポイ捨てした人の顔を写す) ・ポイ捨てをしていないことに対する感謝の気持ちを伝える(Ex.「きれいに使ってくれてありがとう」のフレーズなど) →対象とする年齢層などによって、アプローチの方法を変えることも大切では？	<u>身近な行動から見直す</u>  [例] ・マイボトル・マイバックの利用を心がける(個人努力) ・自動販売機でもペットボトルの使用をやめて、持参したマイボトルに直接飲み物を入れる(企業努力)